

主な事業の概要

●総務費 8億119万円

(町民一人あたり 5万3,101円 前年度比▲0.7%)

デマンド型交通運行事業	1,440万円
フラワー長井線対策費	1,287万円
総合計画策定事業	15万円
荒砥高等学校活性化事業	550万円
町誕生60周年記念事業	587万円
コミュニティセンター構想推進事業	438万円
白鷹人育成事業	413万円
エネルギープロジェクト事業	110万円
防犯灯整備事業(LED化)	221万円
コンビニ収納・郵便局収納準備事業	539万円

●民生費 19億7,009万円

(町民一人あたり 13万573円 前年度比+6.2%)

臨時福祉給付金給付事業	4,488万円
障害者自立支援給付事業	2億6,484万円
しらたか元気っ子事業	2,051万円
防災拠点再生可能エネルギー導入事業	3,540万円
婚活サポート事業	25万円
子育て世帯臨時給付金給付事業	1,656万円
第3子以降の保育料無料化事業	1,720万円
民間保育所支援事業	2,257万円
保育園給食放射性物質検査事業	128万円
地域子育て支援拠点事業	1,000万円
放課後児童健全育成事業	1,346万円



●衛生費 4億8,553万円

(町民一人あたり 3万2,180円 前年度比▲9.0%)

人間ドック事業	1,846万円
骨粗しょう症検診事業	26万円
腎機能検査実施事業	24万円
ニコニコマタニティライフ応援事業	360万円
特定不妊治療費助成事業	165万円
未熟児養育医療給付事業	150万円
風しん予防接種事業	119万円
再生可能エネルギー推進事業	120万円

業用施設、林道等の本格的な復旧復興を最優先課題として取り組みます。

○土地改良事業は、県営事業の継続実施により、浅立地区・萩野地区の基盤整備事業や水頭地区老朽ため池の整備を継続し、新規事業として老朽ため池の整備を行います。また、鮎貝排水機場と諏訪堰頭首工の整備も継続します。

○「やまがた緑環境税」による里山林の再生整備や松くい虫防除事業等を実施し、「やまがた絆の森協定」、「みどり環境交付金事業」による住民参加型の森林整備、里山を活用した交流事業を推進します。

◆工業の振興

○受注拡大の支援、現場力や技術力の向上をめざす中小企業技術者養成事業を引き続き実施するとともに、中小企業緊急金融対策事業や専門家派遣事業を行います。

◆観光交流の振興

○6月からの国内最大の観光キャンペーン「山形デスティネーションキャンペーン」の開催とともに、「べにばなアート展2014-紅花color」

○消費税率の改定に伴い冷え込みが予想される町内消費を拡大し、商業の活性化を促進するため、商工関係団体が実施する商業活性化事業を支援します。

○空き店舗利用促進対策事業を継続し、小規模工事の受注を促進する建築需要促進事業にも取り組みます。

◆商業の振興

○地域産業の活性化と雇用の場の創出をめざし、企業立地促進事業や企業誘致活動を推進します。

○新規学卒者の就職支援を行う人材確保対策事業を継続し、雇用枠の確保・拡大に向けて取り組みます。

◆産業連携

○農産物をはじめとする白鷹町の素材を活用し、農工商連携による6次産業化を推進するため、町民や事業者が実施する初期的な取り組みについて段階的に支援します。

○今年度も「白鷹町産業フェア」を開催し、「白鷹」をアピールできる商品づくりや情報発信に取り組みます。

○ふるさと森林公園パークゴルフ場に天然芝コースを整備し、パレス松風のお客様の満足度向上に向けた改修に取り組み、魅力ある観光地づくりを進めます。

◆定住条件の充実

○主要地方道長井白鷹線新荒砥橋建設

を促進し早期完成をめざします。

○町道荒砥浅立線の消雪用井戸の整備や、浅立沼田岩崎線の改良整備、谷町八ヶ森線の歩道整備工事を引き続き実施します。また、老朽化した舗装の補修や側溝整備等を行い交通の安全確保に努めます。

○住宅施策として、木造住宅の耐震化などのリフォームに対する支援や「すまいる!四季の郷」定住促進プロジェクトを引き続き実施します。

○県事業の大林寺、高岡地区の急傾斜地崩壊対策事業及び昨年7月の豪雨により法面崩落被害を受けた田辺、箕和田、鮎貝地区及び滝野地区の復旧を図るため、急傾斜砂防自然災害防止事業を推進します。

○下水道事業では、白鷹浄化管理センターの適切な維持管理及び水洗化の向上に努め、終末処理場の改築更新事業を実施します。